

令和6年度(2024年度)用

小学校社会科用

「新編 新しい社会」 知識の構造図 【6年】

令和5年(2023年)7月版

東京書籍

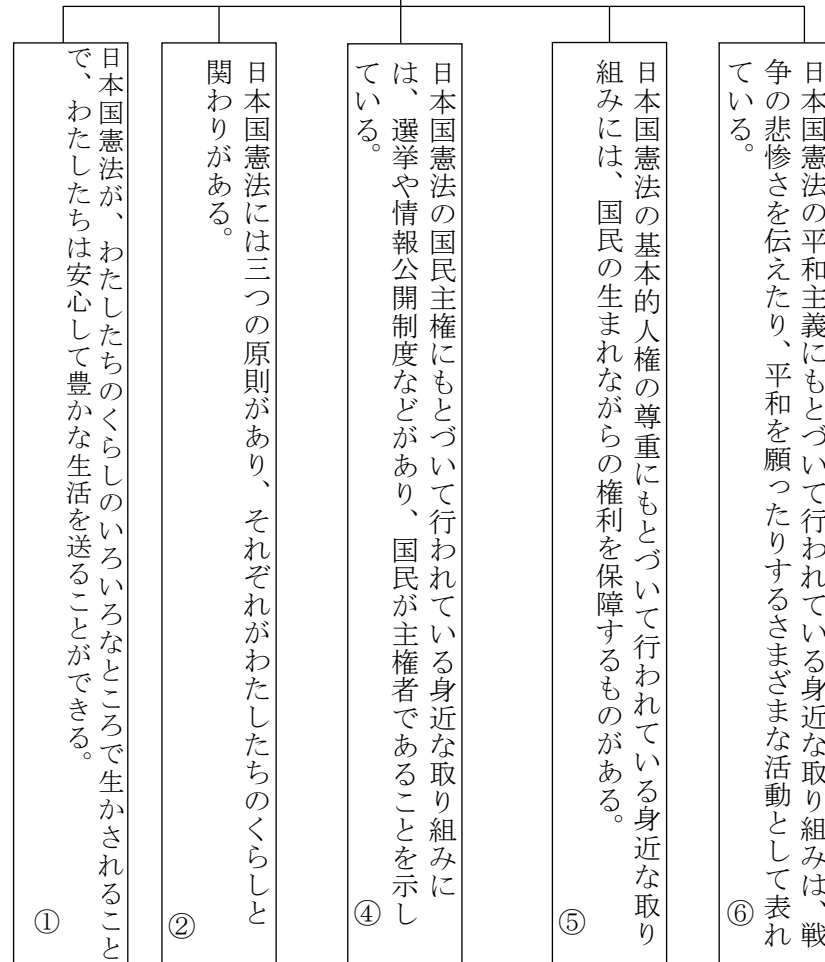
□ 知識の構造図 わたしたちの暮らしと日本国憲法

中心概念
(概念的知識)

日本国憲法は、国家や国民生活の基本を定めており、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方にもとづいている。⑦

まとめる

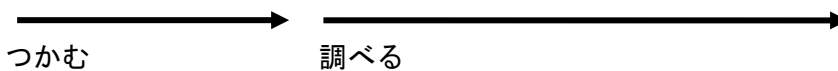
社会的事象
(具体的知識)



用語・語句

- ・ 日本国憲法
- ・ 国民主権
- ・ 基本的人権の尊重
- ・ 平和主義
- ・ 国民主権
- ・ 選挙
- ・ 情報公開制度
- ・ 天皇の国事行為
- ・ 国民の権利
- ・ 国民の義務
- ・ ニンバーサルデザイン
- ・ 基本的人権の尊重
- ・ 平和主義
- ・ 原子爆弾(原爆)
- ・ 自衛隊

問題解決的な
学習の過程



□ 知識の構造図 国の政治のしくみと選挙

中心概念
(概念的知識)

国の政治は、国民主権の考え方の下、国民の生活の安定と向上をはかる大切な役割をしており、国会・内閣・裁判所が三権分立のしくみの下で国の重要な役割を分担している。④-2

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

わたしたちの意見を政治に反映させてくれる代表者を決めるのが選挙であり、さまざまな公共サービスにかかる費用をまかなう税金の使い方などは、選挙で選ばれた代表者によって決められる。
①

国民の生活の安定と向上を図るために、法律や予算などを審議したり決定したりすることが、国会の働きである。
②

国会で決定された法律や予算にもとづいて、国民のために仕事を行うことが、内閣の働きである。
③

法律にもとづいて問題を解決し、国民の権利を守る仕事を行うことが、裁判所の働きである。
④
1

社会の課題を解決するためには、日本国憲法と政治の働きを考え、国民一人一人の政治への関わりが必要である。
①

用語・語句

- ・ 選挙
- ・ 税金
- ・ 予算

- ・ 国会
- ・ 立法
- ・ 衆議院と参議院

- ・ 内閣
- ・ 行政
- ・ 国民の祝日

- ・ 裁判所
- ・ 司法
- ・ 裁判員制度

- ・ 社会の課題
- ・ 解決の方法
- ・ 政治の役割

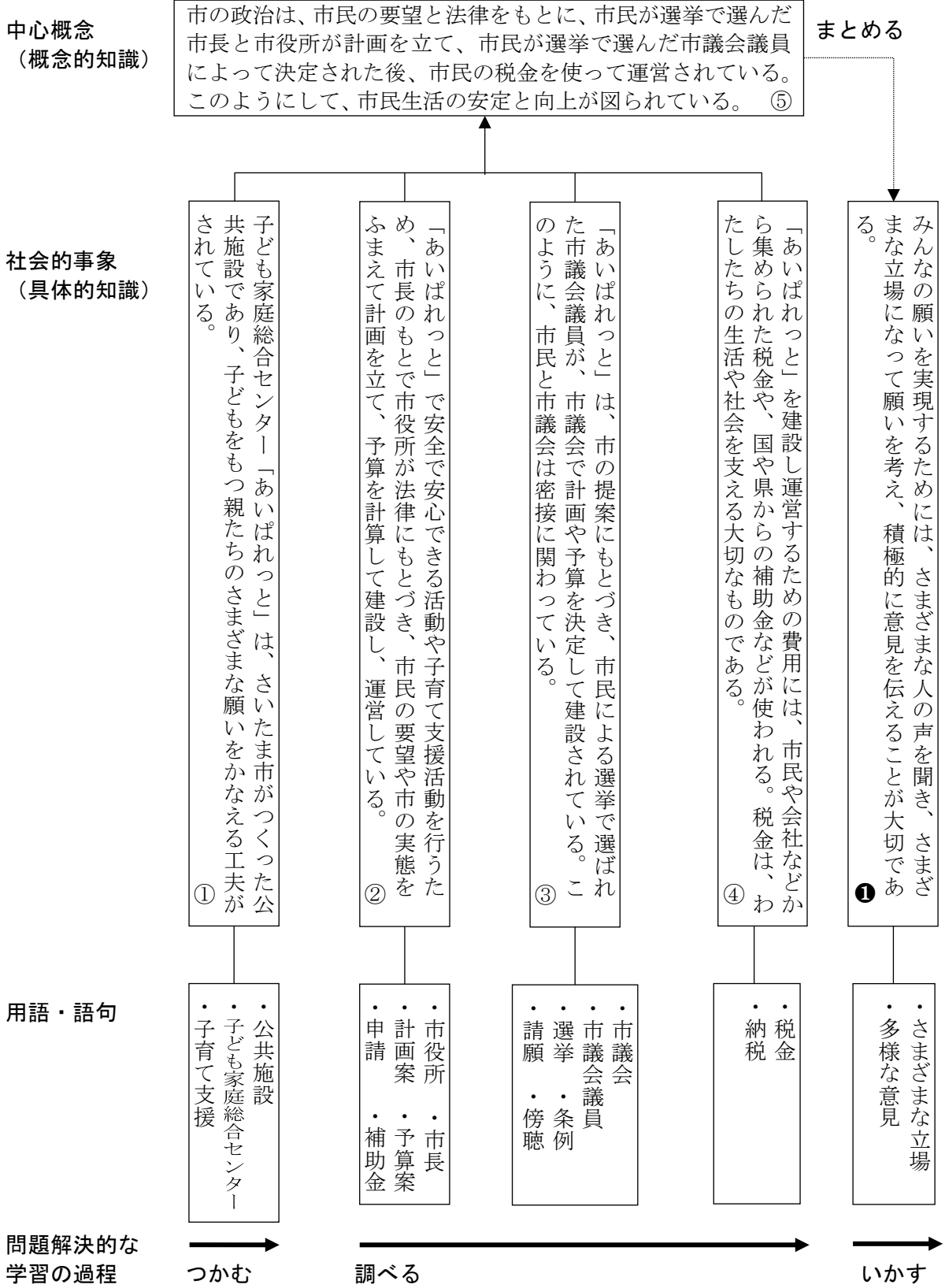
問題解決的な
学習の過程

つかむ

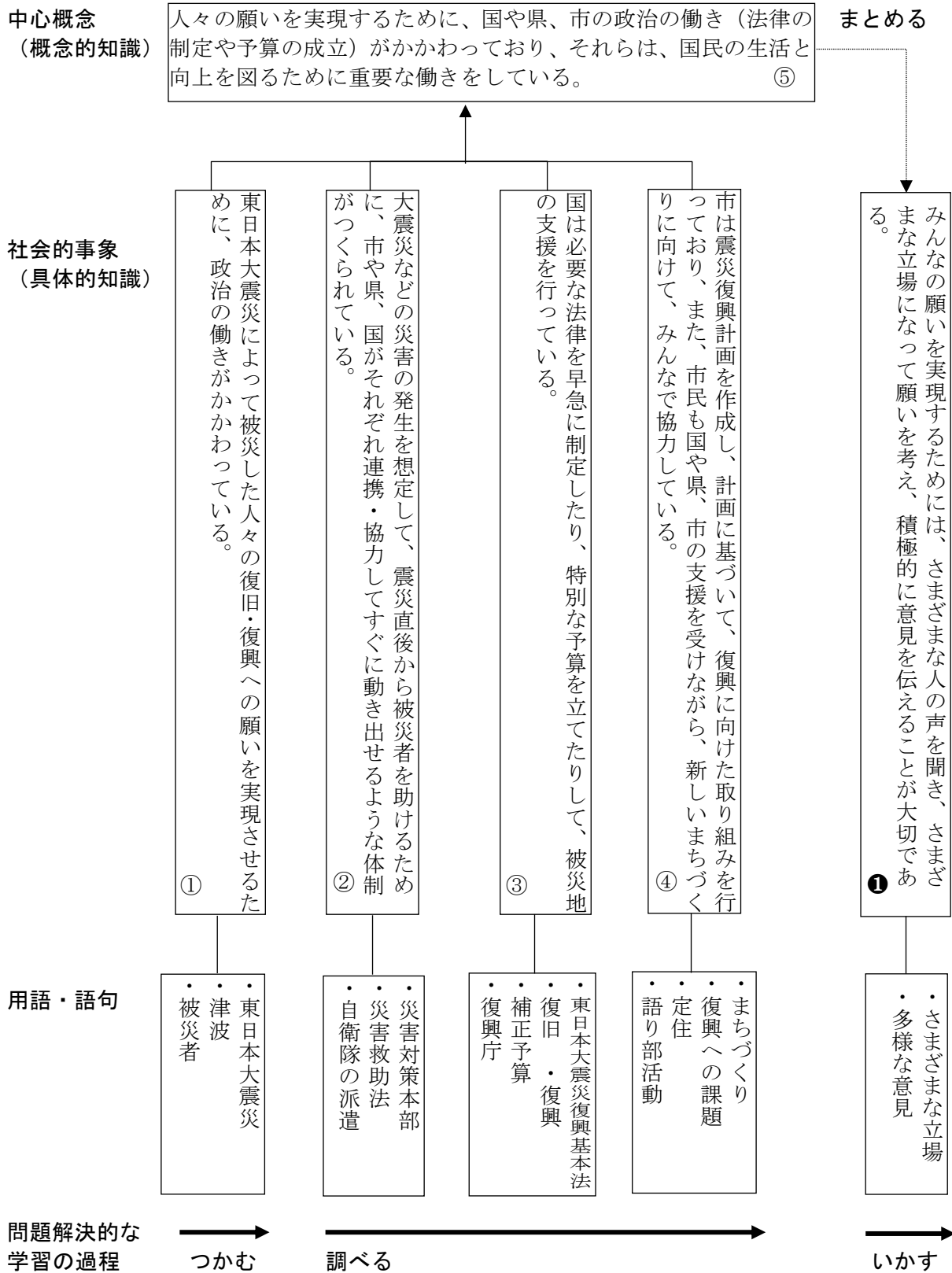
調べる

いかす

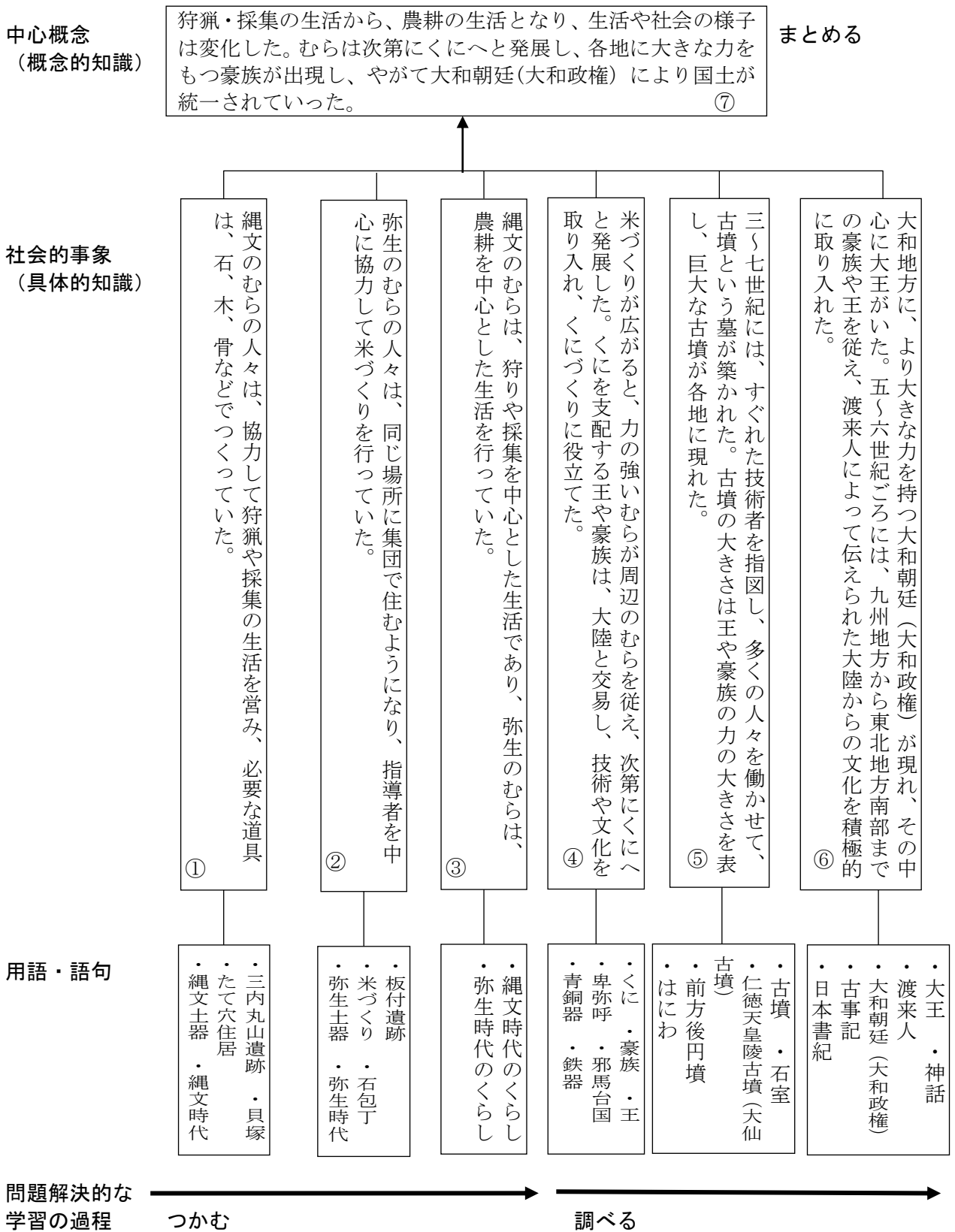
□ 知識の構造図 子育て支援の願いを実現する政治



□ 知識の構造図 震災復興の願いを実現する政治



□ 知識の構造図 縄文のむらから古墳のくにへ



□ 知識の構造図 天皇中心の国づくり

中心概念
(概念的知識)

聖徳太子の国づくりは、中大兄皇子や中臣鎌足によって受け継がれ、聖武天皇のころには、仏教を取り入れた天皇を中心とした政治の仕組みが確立された。⑥

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 聖徳太子は、天皇中心の国づくりを進めるため、遣隋使を隋に派遣して大陸文化を取り入れたり、冠位十二階や十七条の憲法を定め、政治の仕組みを整えたりした。また、法隆寺を建てて仏教を広めようとした。

② 中大兄皇子と中臣鎌足は、勢力を強めた蘇我氏を倒し、天皇を中心とする国づくりを進めた。国を治めるための法律もでき、都には日本各地から多くの産物が運ばれ、天皇を中心とする国づくりを支えた。

③ 都では病気が流行し、都を支える地方でも人々のくらしは厳しく、なかなか政治が安定しなかった。聖武天皇は、仏教の力で社会の不安を少しづつ、国を治めようとして、国分寺をつくらせた。

④ 大仏をつくり、仏教の力で国を安定させようと、全国から人や物資が集められた。聖武天皇の詔の後、行基が弟子とともに大仏づくりに協力し、すぐれた技術をもつ渡来人の指導と多くの人たちの力で大仏が完成した。

⑤ 聖武天皇は、中国へ使者や留学生を送って大陸の政治の仕組みや文化を学ばせる一方、日本に正式な仏教を広めるために鑑真を招いた。このころ我が国には、大陸の文化が伝わってきた。

用語・語句

- ・遣隋使
- ・隋
- ・天皇
- ・冠位十二階
- ・十七条の憲法

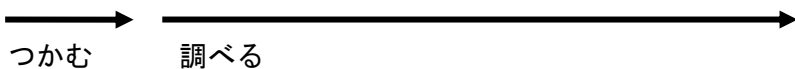
- ・大化の改新
- ・貴族
- ・藤原京
- ・律令
- ・租
- ・調
- ・庸
- ・木簡

- ・平城京
- ・仏教
- ・国分寺

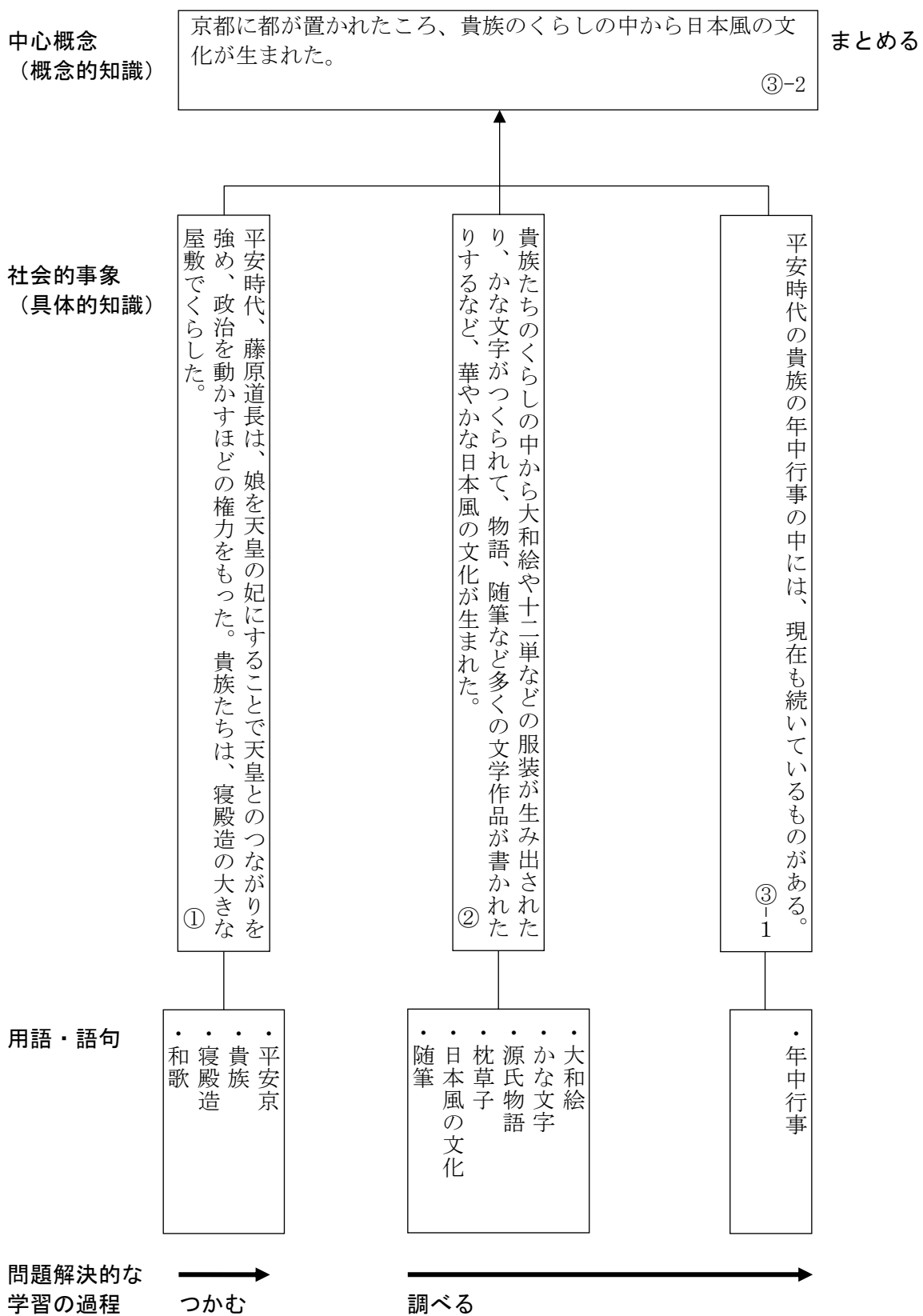
- ・大仏づくり
- ・聖武天皇の詔
- ・東大寺
- ・渡来人
- ・行基
- ・開眼式

- ・大陸の文化
- ・遣唐使
- ・正倉院
- ・鑑真
- ・唐招提寺

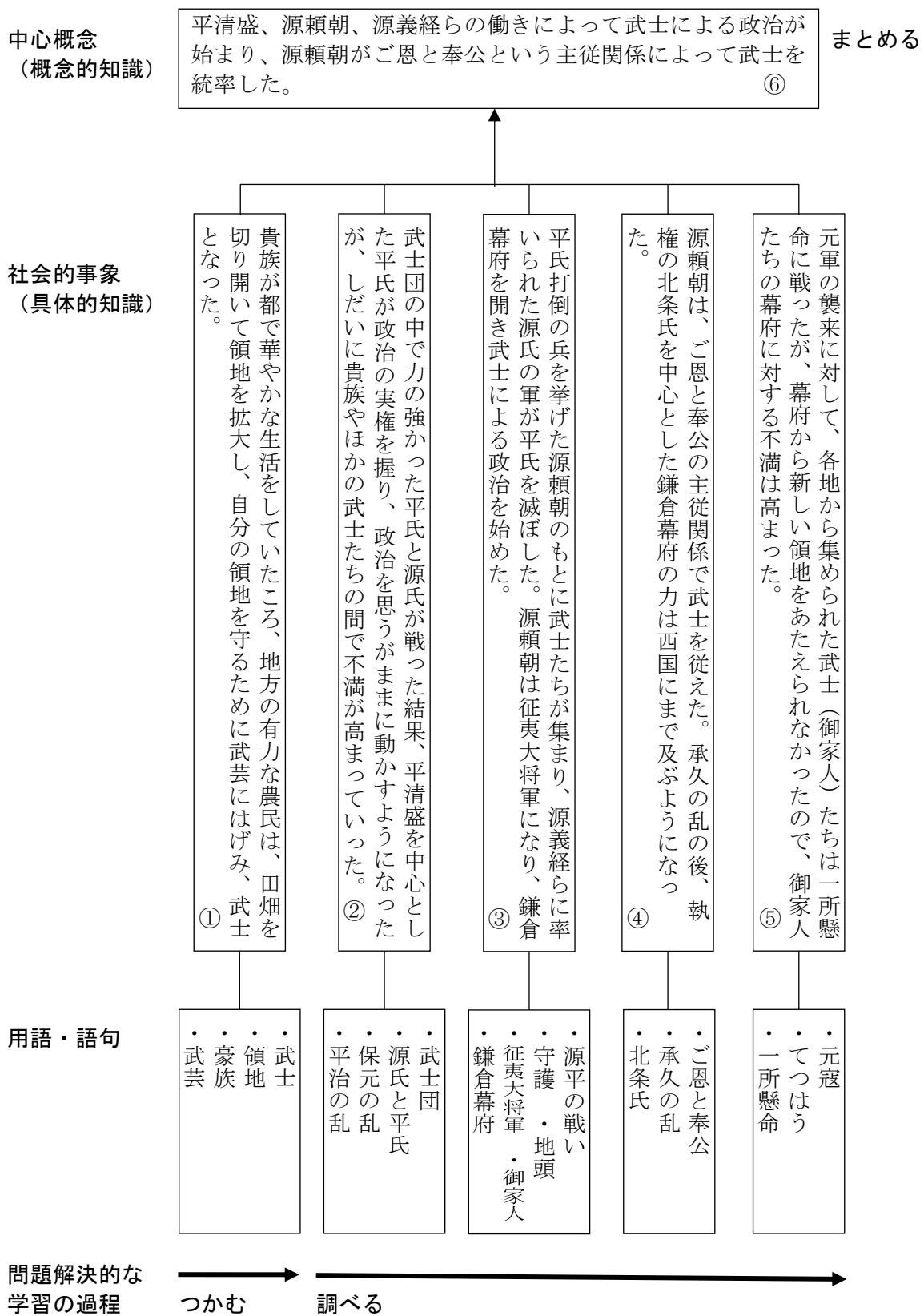
問題解決的な
学習の過程



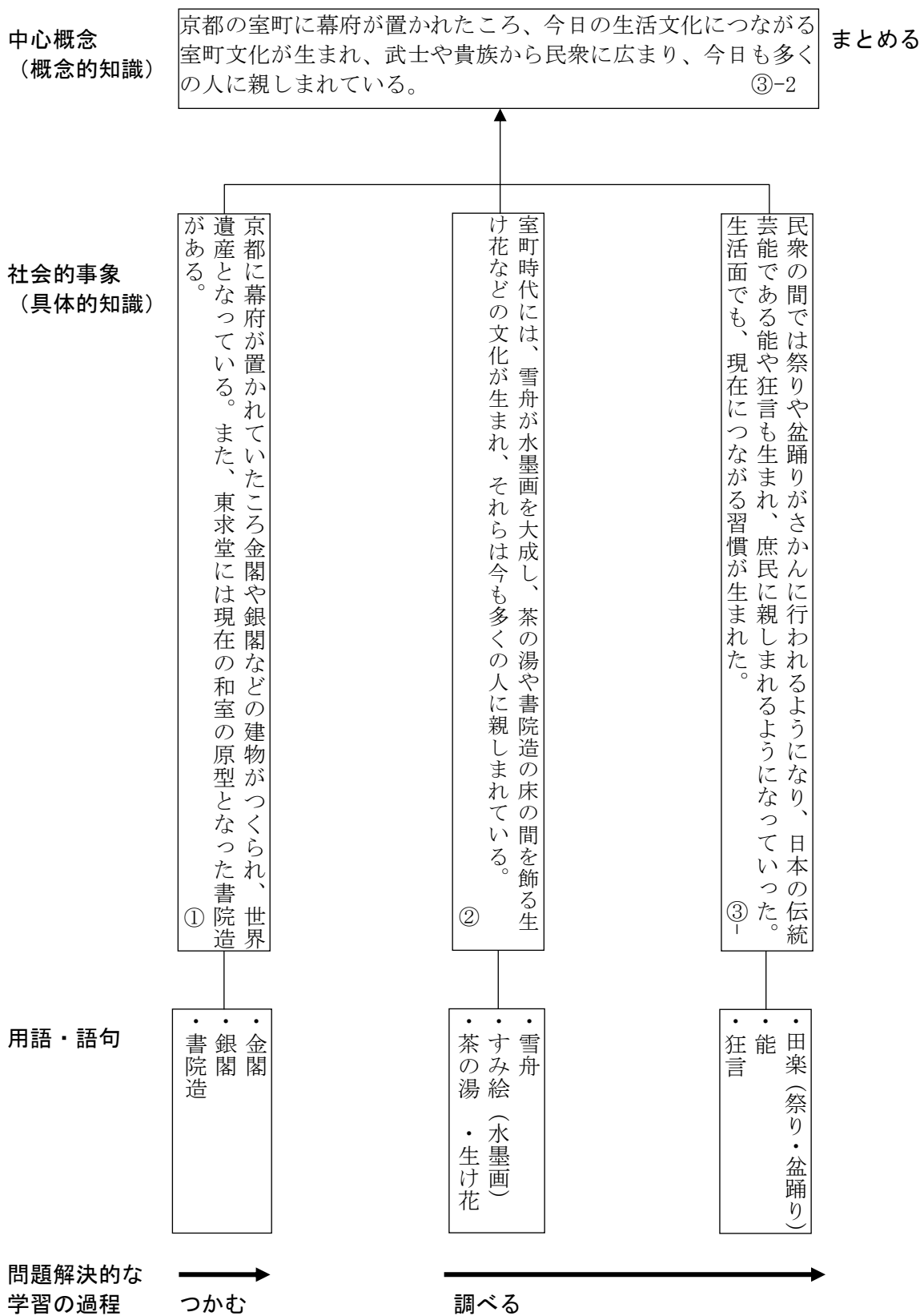
□ 知識の構造図 貴族のくらし



□ 知識の構造図 武士の世の中へ



□ 知識の構造図 今に伝わる室町文化



□ 知識の構造図 戦国の世から天下統一へ

中心概念
(概念的知識)

織田信長と豊臣秀吉は、ヨーロッパとの貿易を進めたり、経済力を高めたり、制度や法を整えたりして力を高め、戦国の世を統一していった。⑥

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 室町幕府が衰えると、戦国大名が各地で戦いを続ける戦国の世となり、特に鉄砲を使って長篠の戦いに勝利した織田信長や豊臣秀吉が力を発揮するようになった。

② 一〇〇年以上続いた戦国の世は、織田信長・豊臣秀吉らの働きによって統一されていった。

③ ザビエルによってキリスト教が伝えられたり、南蛮貿易でヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってきたりするなど、外国との関わりが日本の宗教や戦い方などに影響を与えた。

④ 織田信長は、商業都市をおさえて資金を蓄え、鉄砲などの武器をそろえて有力な大名を倒して勢力を拡大した。そして、安土城を築いたり商業をさかんにしたたりして天下統一を進めていった。

⑤ 豊臣秀吉は、全国の有力な大名を倒して大阪城を築き、検地と刀狩によって武士と百姓・町人の身分を区別し、武士が世の中を支配する仕組みをつくって天下を統一した。

用語・語句

- ・ 戦国大名
- ・ 長篠の戦い
- ・ 鉄砲
- ・ 織田信長
- ・ 豊臣秀吉

- ・ 長篠城
- ・ 大阪城
- ・ 天下統一

- ・ ザビエル
- ・ キリスト教
- ・ 南蛮貿易

- ・ 安土城
- ・ 楽市・楽座

- ・ 検地と刀狩
- ・ 百姓

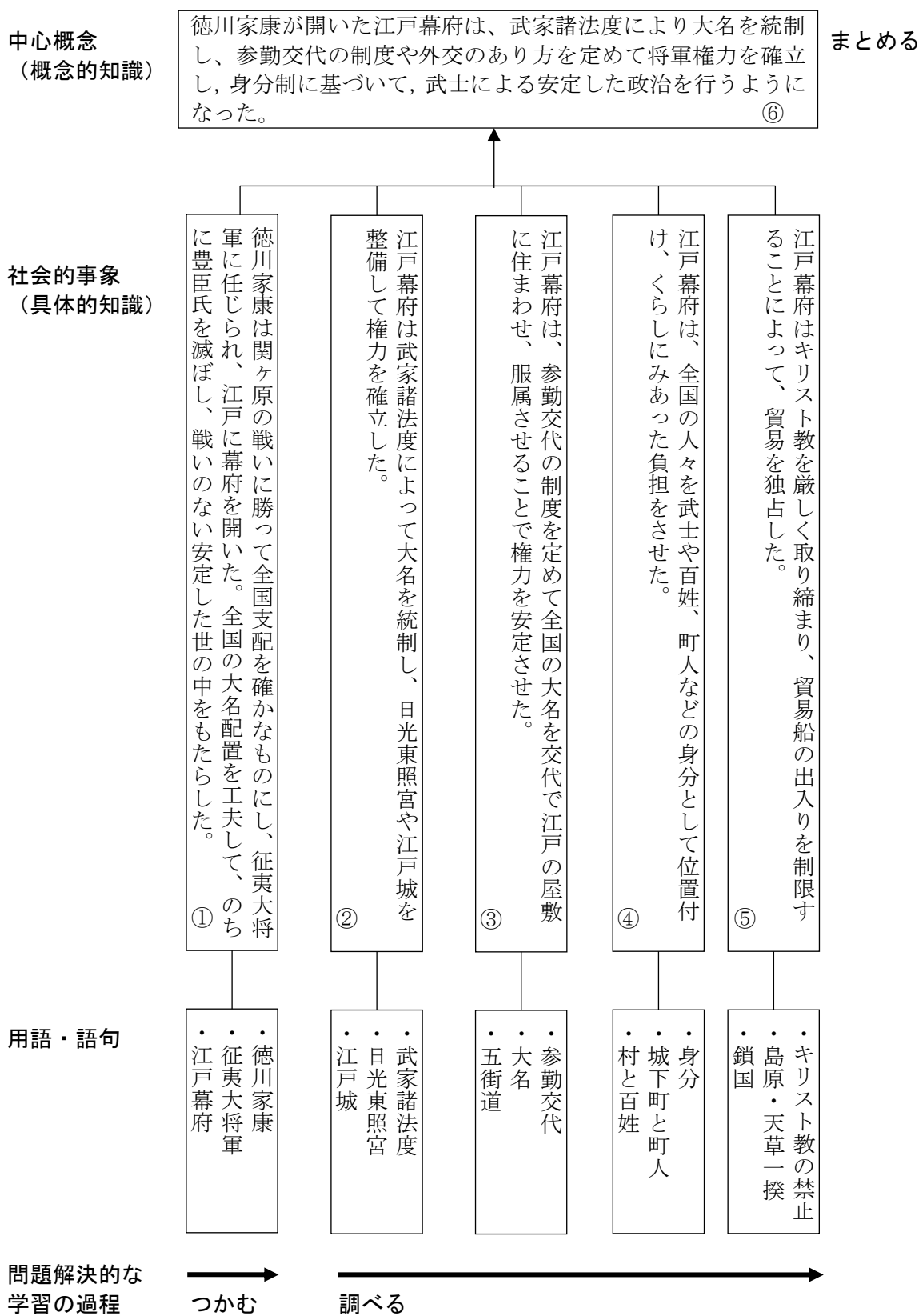
問題解決的な
学習の過程



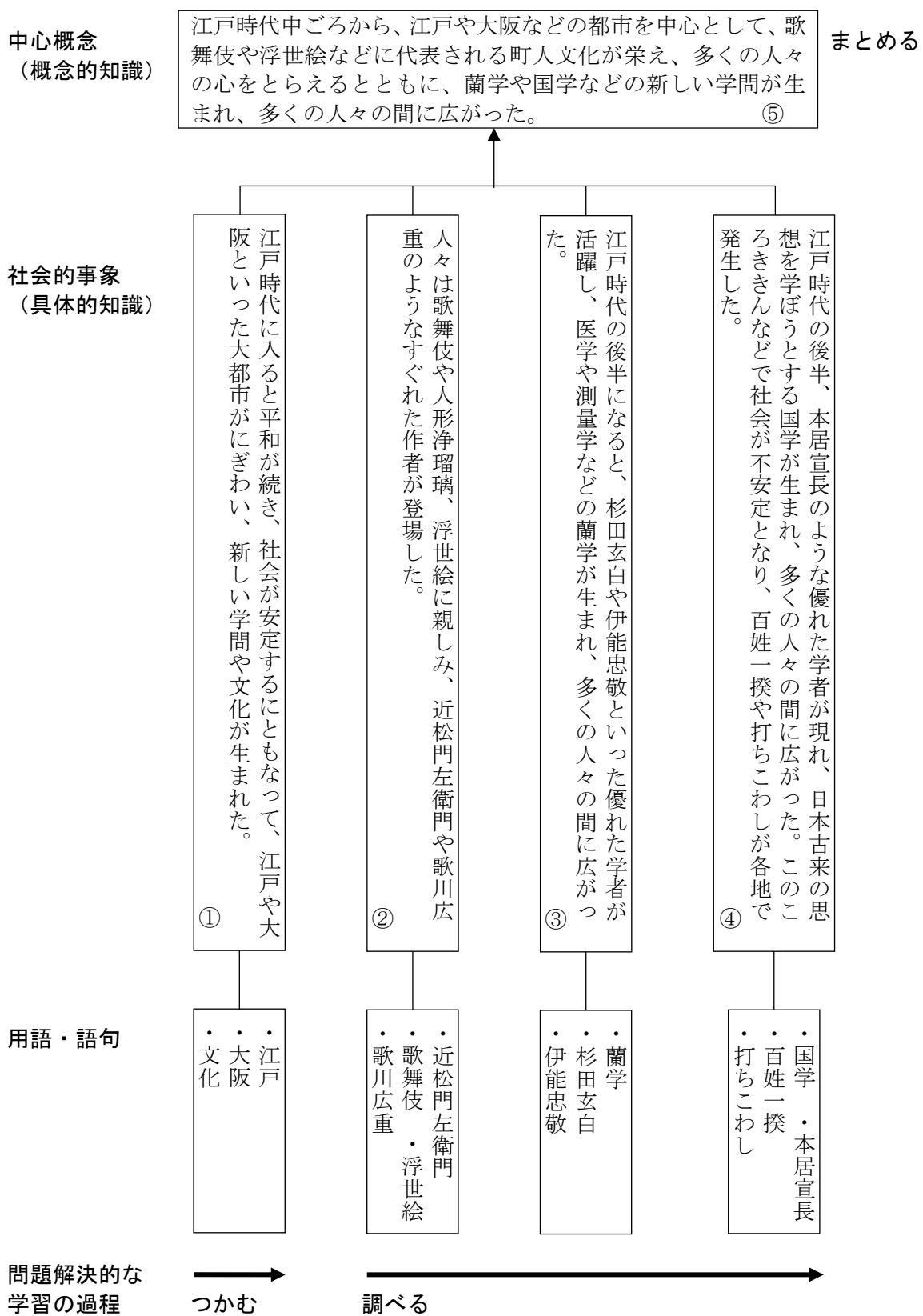
つかむ

調べる

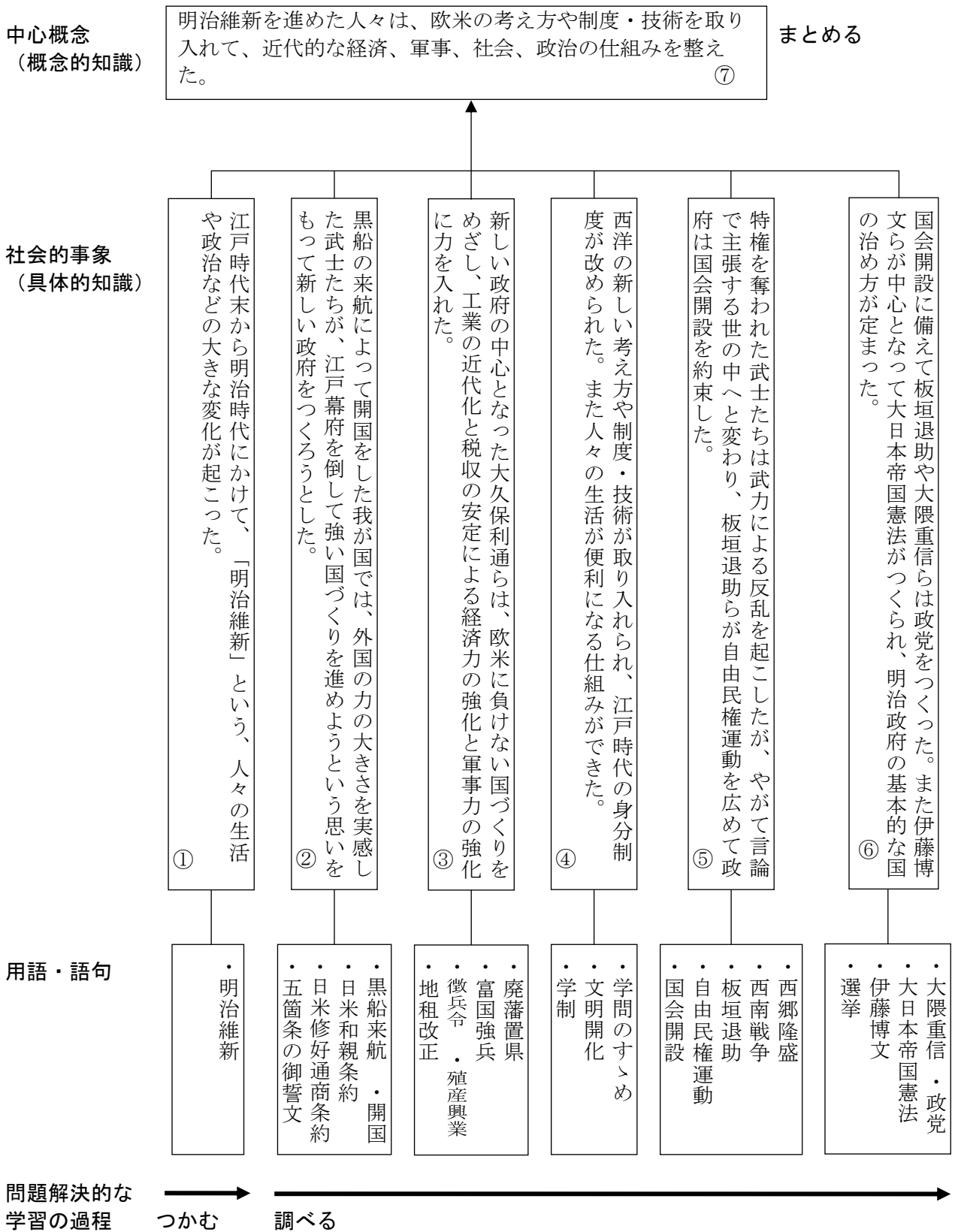
□ 知識の構造図 江戸幕府と政治の安定



□ 知識の構造図 町人の文化と新しい学問



□ 知識の構造図 明治の国づくりを進めた人々



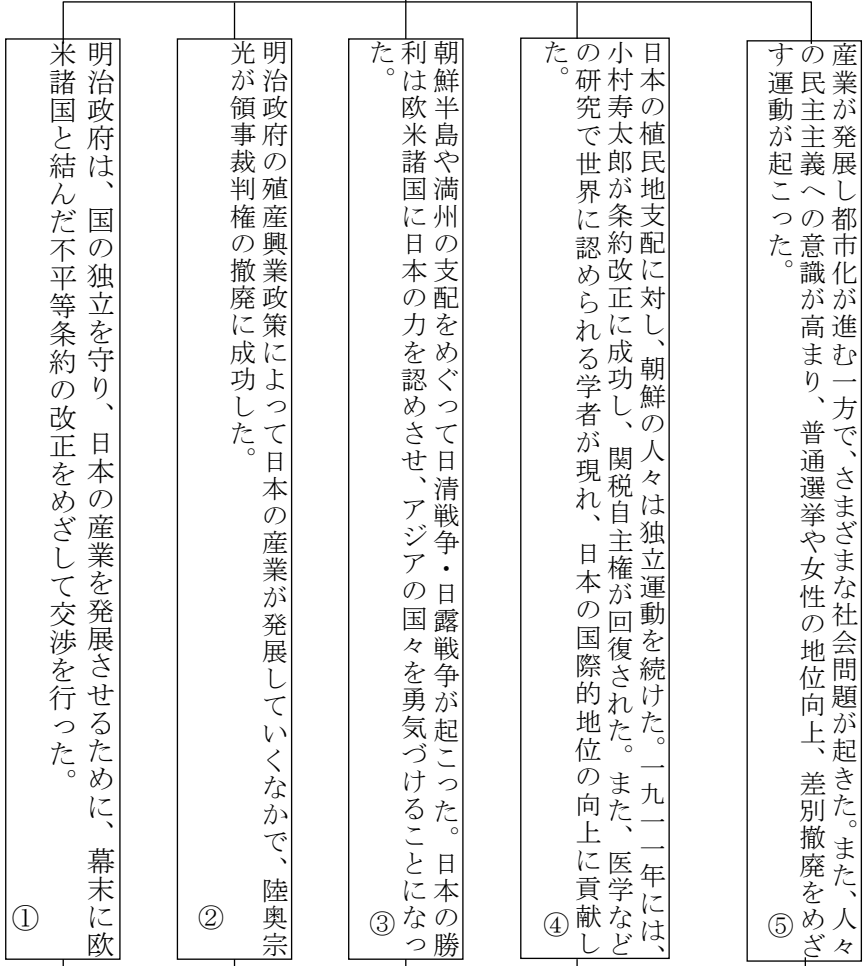
□ 知識の構造図 世界に歩み出した日本

中心概念
(概念的知識)

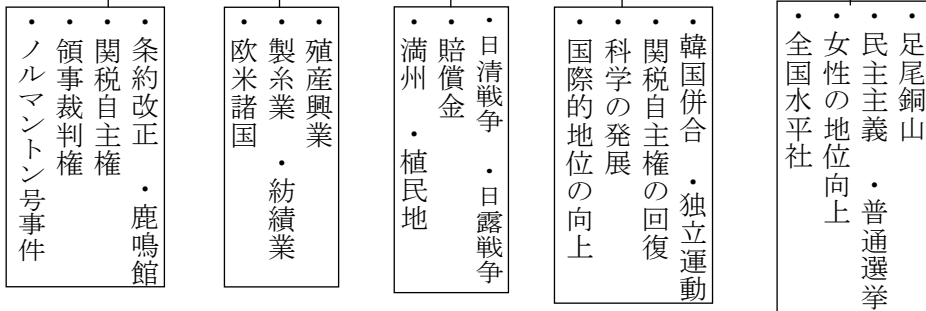
我が国の産業や科学・文化の発展と国力の充実にともなって、日清・日露戦争に勝利し、国際的地位が向上したことで、条約改正が達成されたが、他方で、産業の発展は人々の生活や社会に大きな変化をもたらした。⑥

まとめる

社会的事象
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な
学習の過程 → つかむ

→ 調べる

□ 知識の構造図 長く続いた戦争と人々の暮らし

中心概念
(概念的知識)

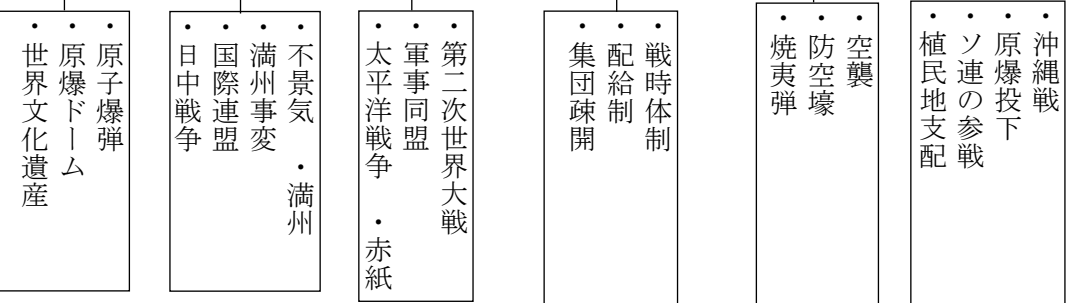
長く続いた戦争は、国民生活に大きな影響を及ぼし、国民や近隣諸国に大きな被害をもたらした。

まとめる

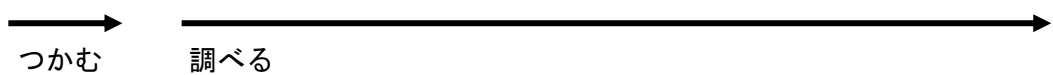
社会的事象
(具体的知識)



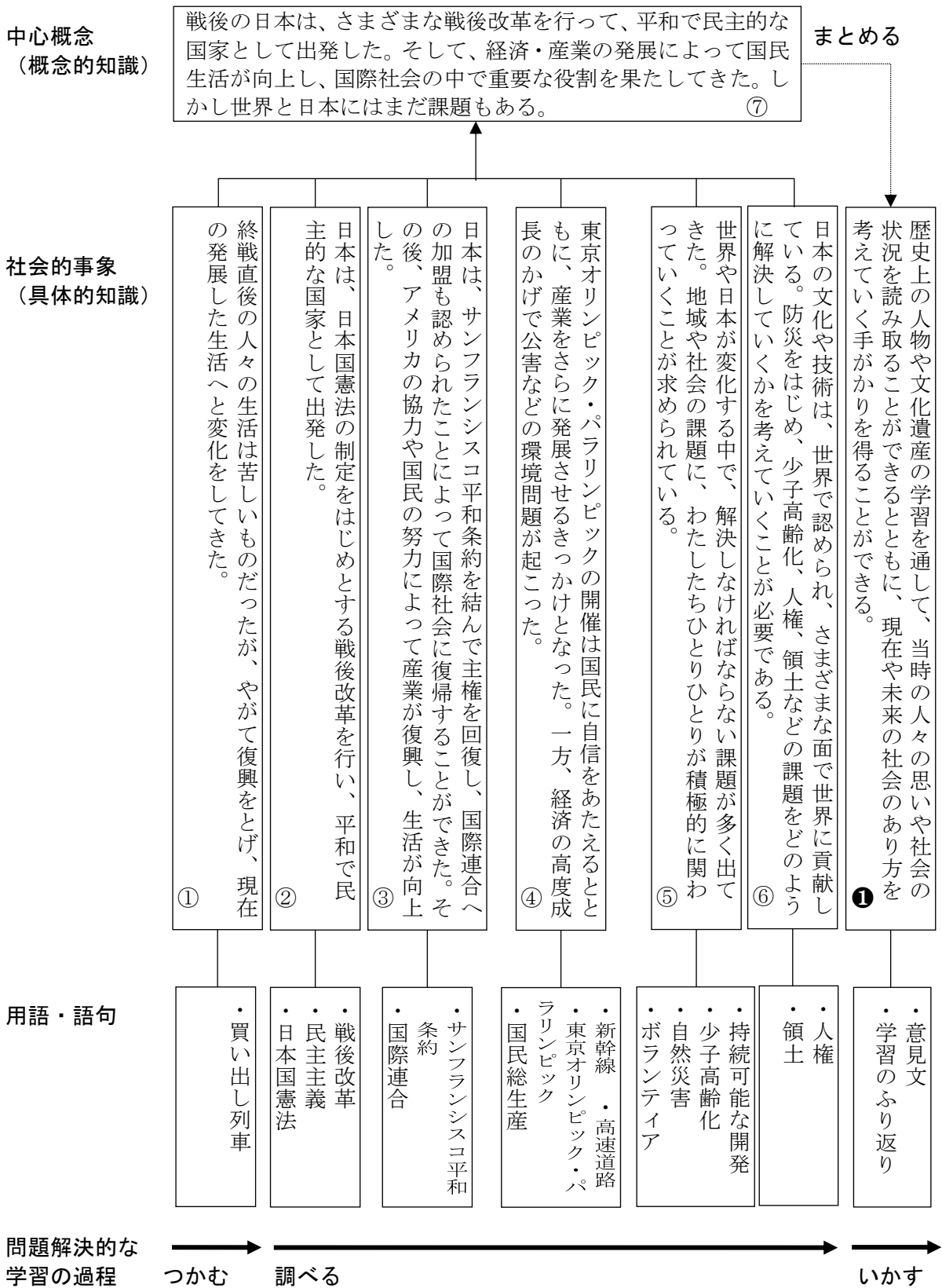
用語・語句



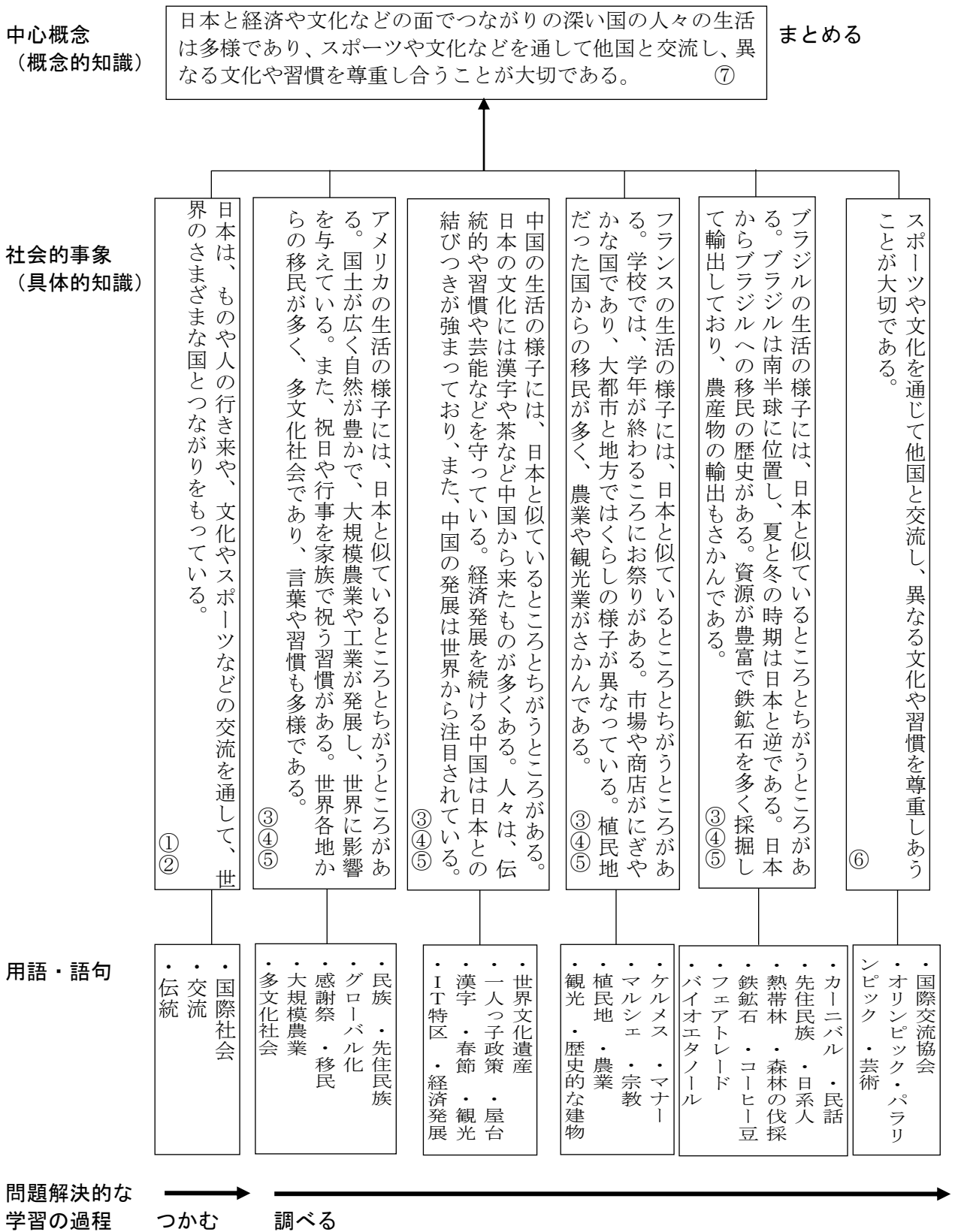
問題解決的な
学習の過程



□ 知識の構造図 新しい日本、平和な日本へ



□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々



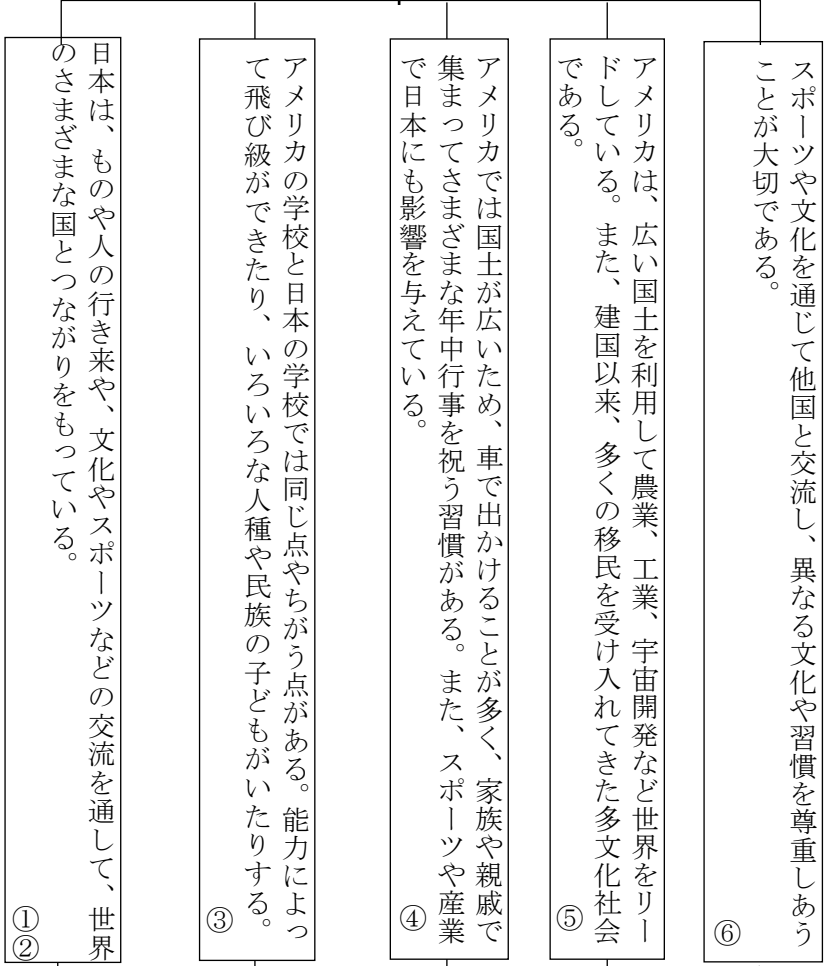
□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々（アメリカ）

中心概念
(概念的知識)

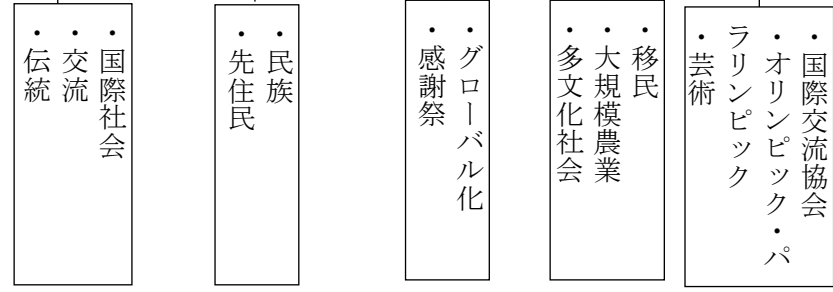
日本と経済や文化などの面で行き来する深い国の人々の生活は多様であり、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切である。⑦

まとめる

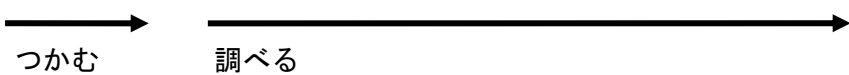
社会的事象
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な
学習の過程



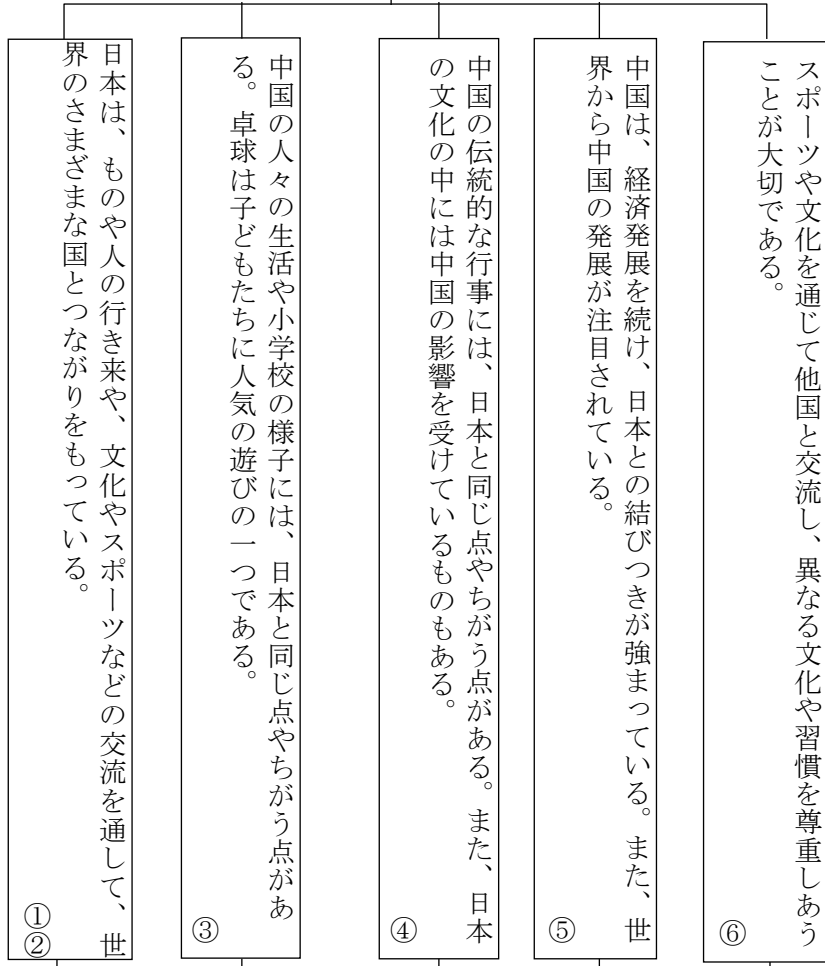
□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々（中国）

中心概念
(概念的知識)

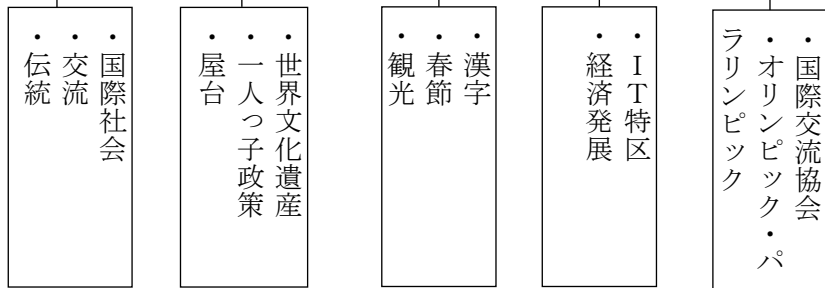
日本と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は多様であり、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切である。 ⑦

まとめる

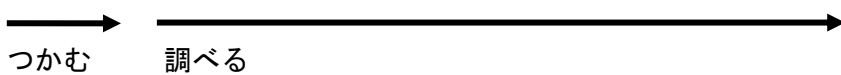
社会的事象
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な
学習の過程



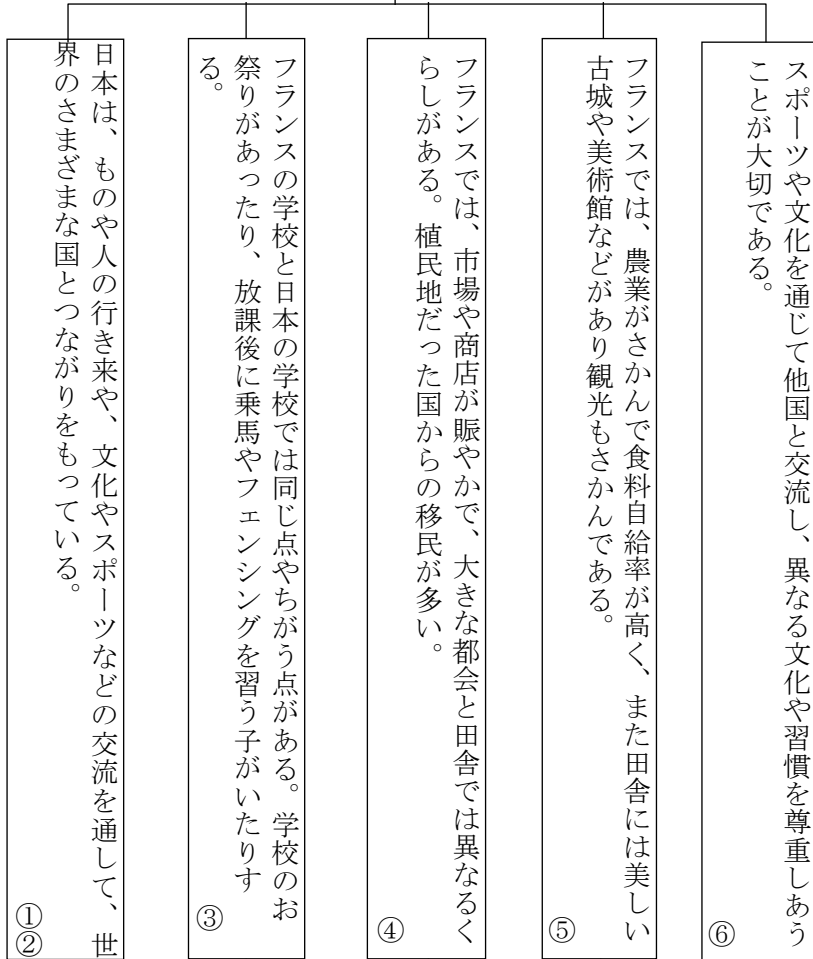
□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々（フランス）

中心概念
(概念的知識)

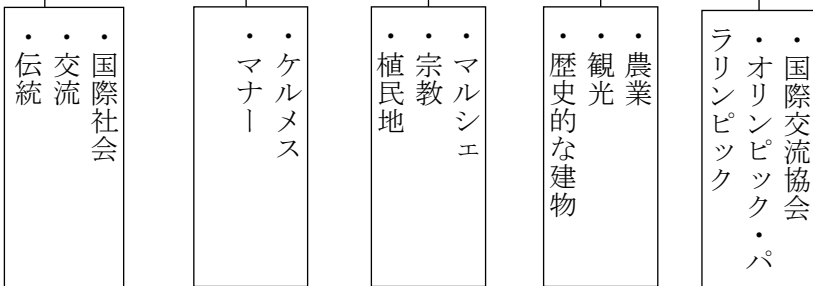
日本と経済や文化などの面で行き来が深い国の人々の生活は多様であり、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切である。 ⑦

まとめる

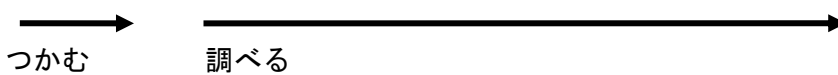
社会的事象
(具体的知識)



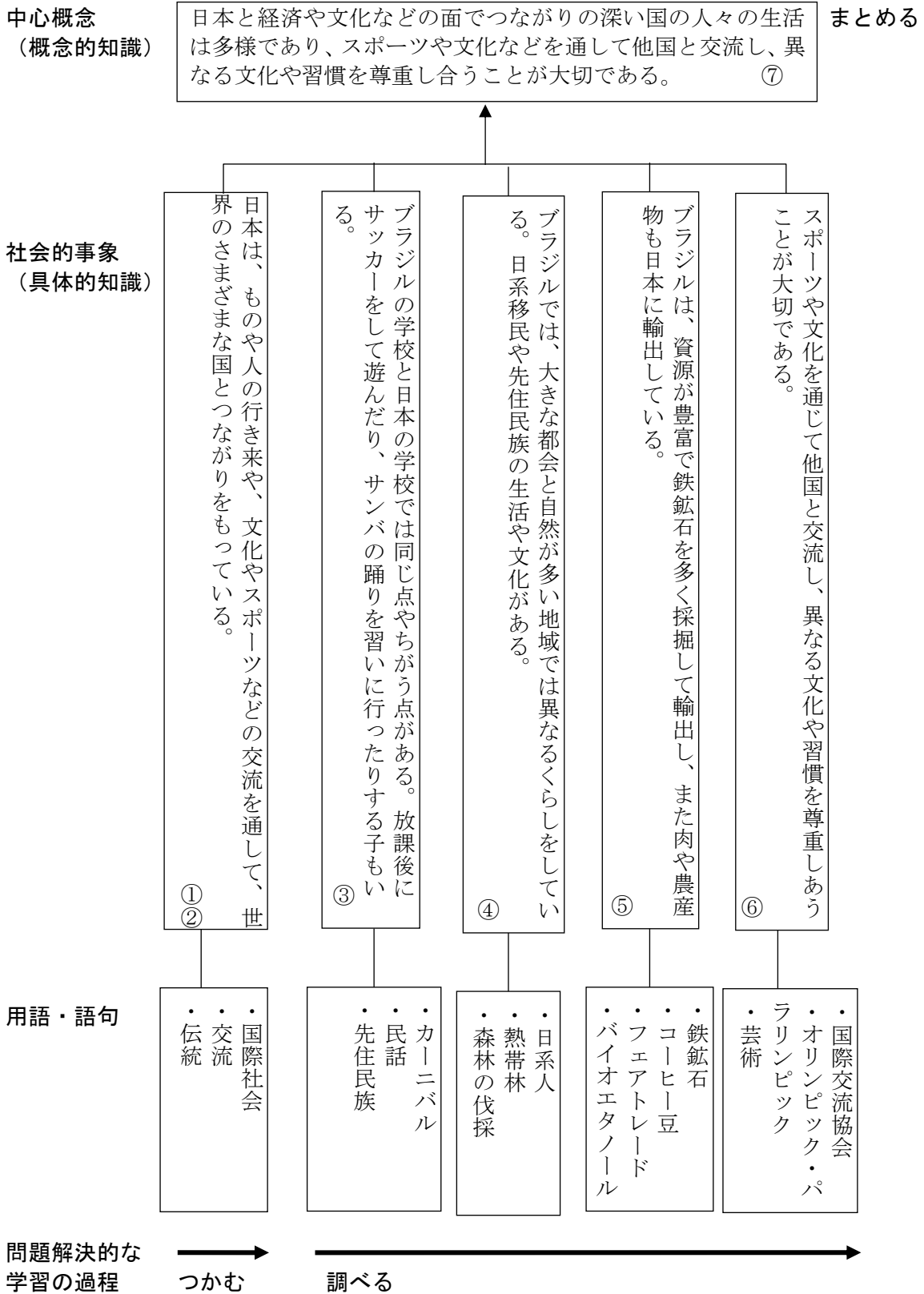
用語・語句



問題解決的な
学習の過程



□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々（ブラジル）



□ 知識の構造図 世界の未来と日本の役割

